

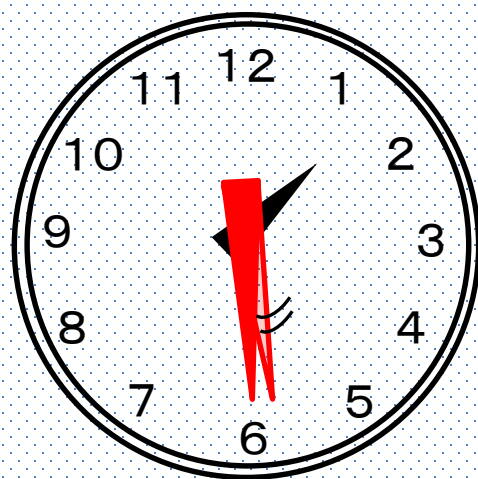
令和2年度・花巻署管内
熱中症対策キャッチフレーズ

熱中症

早め早めの

水分・塩分補充

陸上貨物運送事業労働災害防止協会岩手県支部 北上分会様が考案



水分ヨシ!

塩分ヨシ!

早め早め、ヨシ!

令和2年5月1日から9月30日まで「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」実施中!!

花巻労基署管内労働災害防止団体 / 花巻労働基準監督署

○「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」について

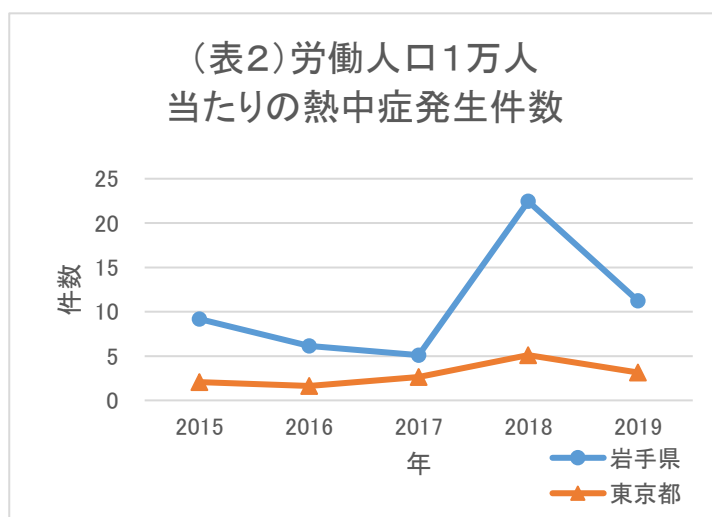
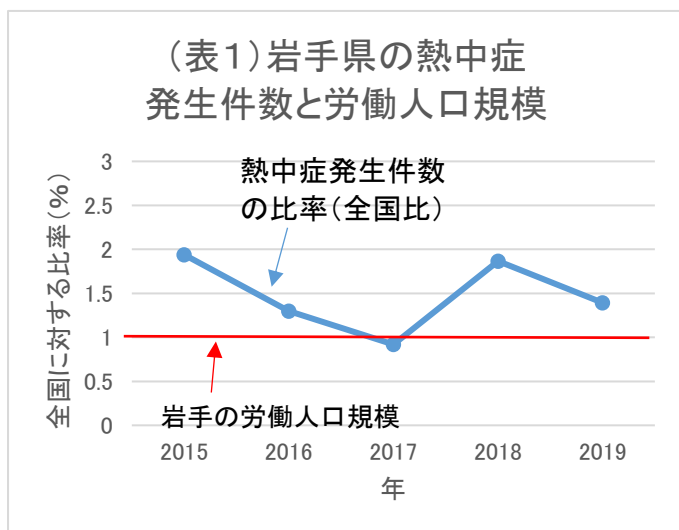
昨年の岩手県内の職場における熱中症発生件数は147件で、2018年の約6割に減少しました。しかしながら過去5年間では2番目に多い数値となっており、重点的な熱中症対策への取り組みが必要です。

・岩手県の熱中症被災状況の現状

岩手県の労働人口規模は、全国の約1%前後を推移しています。そのため、熱中症を含む各種災害の発生件数も、特段の要因がなければ全国の1%前後であると考えられますが、実際の熱中症発生件数は表1のとおり、ほぼ毎年1%を超えています。

人口1万人当たりの、休業4日以上[※]の熱中症発生件数(職場内)を東京都と比較すると、表2のとおり、例年東京の2倍以上の値となっています。

岩手県は東京と比べて、一般に気温は低い値となっていますが、熱に慣れていない(熱順化していない)者は比較的低い温度でも熱中症になりやすいということもあるため、涼しい地域でも入念な準備が必要になります。



事業場で実施すべき事項

(期間ごとに重点的に取り組んでください。また、実施事項を確認し、□にチェックを入れましょう。)

●準備期間(4月1日～4月30日)

- 暑さ指数(WBGT値)の把握の準備
- 作業計画の策定等
- 設備対策の検討
- 休憩場所の確保の検討
- 服装などの検討
- 教育研修の実施
- 熱中症予防管理者の選任及び責任体制の確立
- 緊急事態の措置の確認



●キャンペーン期間(5月1日～9月30日)

- 暑さ指数(WBGT値)の把握 (JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を測りましょう。)
- 準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定した暑さ指数に応じて次の対策を取りましょう。
- 暑さ指数を下げるための設備の設置
- 休憩場所の整備
- 涼しい服装など
- 作業時間の短縮
- 熱への順化
- 水分・塩分の摂取
- 健康診断結果に基づく措置
- 日常の健康管理など
- 労働者の健康状態の確認
- 異常時の措置

●重点取組期間(7月1日～31日)

- 暑さ指数の低減効果を改めて確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- 水分、塩分を積極的にとりましょう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんととりましょう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、すぐに病院に運ぶか救急車を呼びましょう。